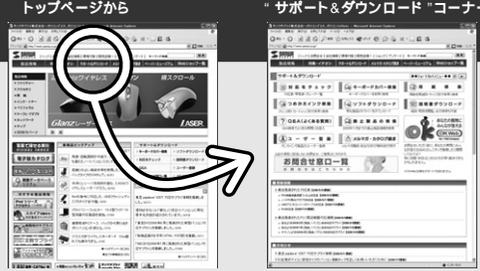


保証書	
保証期間	12ヶ月
品番	UPS-750C
お名前	
ご住所 〒	
ご使用本体名	TEL( ) -
販売店(店名・住所・TEL・担当者名)	
お買い上げ年月日	
シリアルナンバー	必要事項をご記入の上、大切に保管してください。
<div style="border: 1px dashed black; height: 40px; width: 100%;"></div>	

**最新の情報はインターネットで!!**  
<http://www.sanwa.co.jp/>

サポート情報  
 ドライバのダウンロード  
 よくある質問(Q&A)  
 各種対応表  
 など、最新情報を随時更新しています。

ご質問、ご不明な点がございましたら、  
 ぜひ一度、弊社ウェブサイトをご覧ください。



**サンワサプライ株式会社**

岡山サブライセンター / 〒700-0825 岡山市田町1-10-1 ☎086-223-3311 FAX.086-223-5123  
 東京サブライセンター / 〒140-8566 東京都品川区南大井6-5-8 ☎03-5763-0011 FAX.03-5763-0033  
 札幌営業所 / 〒060-0807 札幌市北区北7条西5丁目ストークマンション札幌 ☎011-811-3450 FAX.011-716-8990  
 仙台営業所 / 〒983-0851 仙台市宮城野区榴岡1-6-37 宝栄仙台ビル ☎022-257-4638 FAX.022-257-4833  
 名古屋営業所 / 〒453-0015 名古屋市東区横町1-6-7 カジヤマビル1F ☎052-453-2031 FAX.052-453-2033  
 大阪営業所 / 〒532-0003 大阪市淀川区宮原4-1-4 5 新大阪八千代ビル ☎06-6395-5310 FAX.06-6395-5315  
 福岡営業所 / 〒812-0012 福岡市博多区博多駅中央街8-20 第2博多相互ビル ☎092-471-6721 FAX.092-471-8078  
 金沢 / ☎076-222-8384

最新の情報はインターネットで! <http://www.sanwa.co.jp/>

07/01/SNDaNo



**小型無停電電源装置 取扱説明書**

**UPS-750C**



ご使用前にこのマニュアルをよくお読み下さい。また、  
 お手元に置き、いつでも確認できる様にしておいて下さい。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがございます。  
 本書に記載の社名及び製品名は一般的に各社の商標又は登録商標です。

**サンワサプライ株式会社**

## ユーザー登録はお済みですか？

サンワサプライ商品をご購入頂き、誠にありがとうございます。  
製品をご利用いただく前にユーザー登録を行ってください。

ご登録いただくとこんなメリットがあります。

- 1.バージョンアップなどの情報をメールでご案内します。
- 2.サポートを受ける場合にも登録情報を元に行いますので問合せが容易になります。
- 3.新商品の情報等をメールで受け取ることができます。

ご登録はインターネットで！

<http://www.sanwa.co.jp/user/>

本サイトはSSL暗号化に対応しており、プライバシー保護も万全です。

製品についてのお問合せ、Q&A、対応表などは以下のアドレスからご覧いただけます。

<http://www.sanwa.co.jp/support/>



## はじめに

このたびは、弊社無停電電源装置(UPS)をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

**本製品をご使用になる前に必ずこのマニュアルをよくお読みください。**

本書では、UPSの性能を最大限生かして有効寿命の間ご使用いただけるよう、安全性、設置方法、および操作手順について説明しています。

**このマニュアルを保管してください。**

本書では、安全に使用する方法が記載されています。またUPSに問題が生じた場合、お買い求めの販売店に連絡する前に、このマニュアルを参照してください。

**梱包材の保管**

UPSの梱包材は、輸送中に生じる衝撃から装置を保護するように設計されています。サービスのためにこのUPSを返送する際には、この梱包材が必要になります。輸送中に発生した破損は保証の対象になりません。

2007年 1月 第1版

このたびは、無停電電源装置(UPS)をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

- 1.この取扱説明書は大切に保管してください。
- 2.この取扱説明書の内容は、予告なしに変更することがあります。
- 3.この取扱説明書に書かれた注意を守らずに使用された結果については、弊社は責任を負いかねますのでご了承ください。
- 4.この取扱説明書の内容の一部または全部を無断で複写・転写しないでください。
- 5.この取扱説明書の内容は万全を期して作成しておりますが、お気付きの点、ご不明の点がございましたら、お手数でもお買い上げの販売店または最寄りの営業所までご連絡ください。

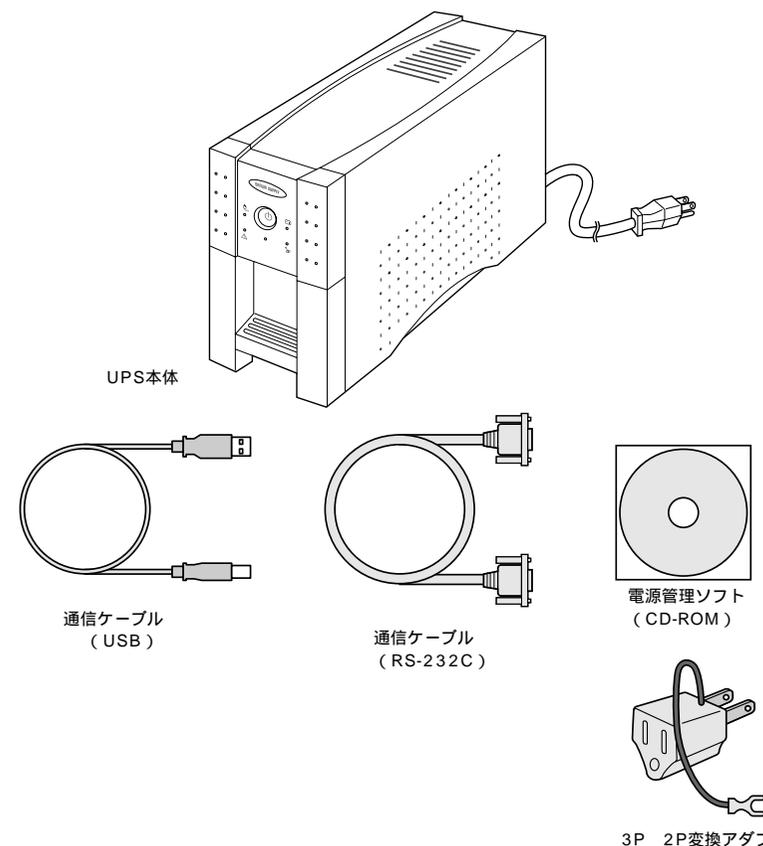
Copyright © 2007

サンワサプライ株式会社

## セット内容の確認

まず、梱包箱を開けて、セット内容を確認してください。  
不足しているものがありましたらお買い上げの販売店までご連絡ください。

最初に ご確認 ください。	セット 内容	小型無停電電源装置本体 .....	1台
		3P 2P変換アダプタ .....	1個
		通信ケーブル (USB).....	1本
		通信ケーブル (RS-232C).....	1本
		電源管理ソフト(CD-ROM).....	1枚
		取扱説明書兼保証書(本書) .....	1部



## 安全上のご注意

### 1.安全にお使いいただくために

ご使用前に、必ずこの取扱説明書を熟読し、正しくお使いください。  
この取扱説明書では、安全注意事項のランクを「危険」、「注意」として区別してあります。



**危険**

取り扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて死亡または重傷を受ける可能性が想定される場合。



**注意**

取り扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて中程度の障害や軽傷を受ける可能性が想定される場合、および物的損害のみの発生が想定される場合。

なお、注意に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。  
いずれも重要な内容を記載しておりますので必ず守ってください。

禁止・強制のマークの説明を次に示します。



**禁止**

禁止(してはいけないこと)を示します。



**強制**

強制(必ずしなければならないこと)を示します。  
例えば、接地の場合はとなります。

警告表示がかすれていたり、警告ラベルが破損した場合は、お買い上げの販売店に連絡していただき、常に明瞭な状態を維持するようにしてください。

### 2.取扱説明書内の警告文について

#### 危険回避の警告

##### 設置上の注意事項



**注意**

UPSは前後左右に10cm以上の空間を設けて設置してください。  
UPSの通風口はふさがないようにください。  
UPSの上面には物を載せないでください。  
次のような環境での使用・保管は絶対にしないでください。  
故障・損傷・劣化などによって、火災の原因になることがあります。  
カタログ・取扱説明書に記載の周囲温度から外れた高温・低温・多湿となる場所  
直射日光が当たる場所  
ストーブ等の熱源から熱を直接受ける場所  
車載・船舶等、振動や衝撃の加わる場所  
火花が発生する機器の近く  
粉塵・腐食性ガス・塩分・可燃性ガスがある場所  
屋外 (参照ページ:8)

##### 配線上の注意事項



**注意**

アース線を確実に接続してください。  
アース線を接続していない場合、感電のおそれがあります。 (参照ページ:10)

3

##### 配線上の注意事項



**注意**

延長用の電源やたこ足配線となるアダプタは使用しないでください。  
(参照ページ:10)

##### 使用上の注意事項



**注意**

UPSのバッテリー交換カバー以外は開けないでください。  
感電のおそれがあります。 (参照ページ:20)



**注意**

UPSが故障し、異臭・異音がした場合はUPSをすぐに停止してください。  
火災の原因になる場合があります。 (参照ページ:10・12・20)  
通風口に棒・指などの異物を入れないでください。 (参照ページ:13・20)  
感電のおそれがあります。

入力プラグは絶対に出力コンセントに差し込まないでください。  
運転中に入力プラグを出力コンセントに差し込むと電流が環流し、アークが発生してやけど・視覚の障害などのおそれがあります。 (参照ページ:13・20)

UPSが運転している状態で入力電源ケーブルを抜かないでください。  
感電・やけどのおそれがあります。 (参照ページ:13・20)

運転中はUPSを絶対に移動させないでください。 (参照ページ:13・20)  
感電・やけどのおそれがあります。

負荷を減らす場合、UPSを停止させてください。 (参照ページ:13・20)  
火災・やけどの原因になる場合があります。



**注意**

UPSが運転中(商用/バックアップインジケータ点灯)に、入力電源ケーブルを抜かないでください。停電と同じ状態になり、バッテリーが放電します。 (参照ページ:13・14)



**禁止**

UPS周辺での喫煙・火気の使用を禁止します。 (参照ページ:13)  
爆発・破損により、けが・火災のおそれがあります。

UPSの上部に花瓶など水の入った容器を置かないでください。  
花瓶などが転倒した場合、こぼれた水での感電・UPS内部からの火災の原因になることがあります。

UPSの上部に乗ったり、踏み台にしたりしないでください。

次のような用途には絶対に使用しないでください。

- 人命に直接かかわる医療機器などへの使用。
- 人身の損傷に至る可能性のある航空機・電車・エレベータなどへの使用。
- 社会的・公共的に重要なコンピュータシステムなどへの使用。
- これらに準ずる装置。

4

保守・点検上の注意事項

**⚠ 注意**

本UPSには寿命があります。寿命が来たら新しいUPSを購入してください。  
寿命となったUPSは火災の原因になることがあります。 (参照ページ:14)

装置の性能に関する注意事項

使用上の注意事項

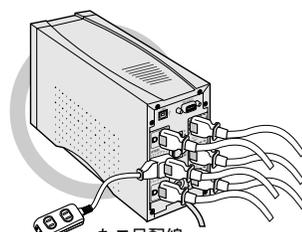
**⚠ 注意**

バッテリーは使用しなくても自然放電します。3ヶ月ごとに24時間のバッテリー充電運転を行ってください。  
バッテリー充電を行わないとバッテリーが使用できなくなります。 (参照ページ:14)

**⚠ 注意**

負荷接続する機器の消費電力の合計が750VA(450W)以下にしてください。  
本装置はコンピュータの周辺機器用に設計しています。  
トランスやインダクタなどの巻線類負荷には適合しません。  
レーザープリンタを接続しないでください。 (参照ページ:10)

**🚫 禁止**



たこ足配線



巻線類負荷



レーザープリンタ

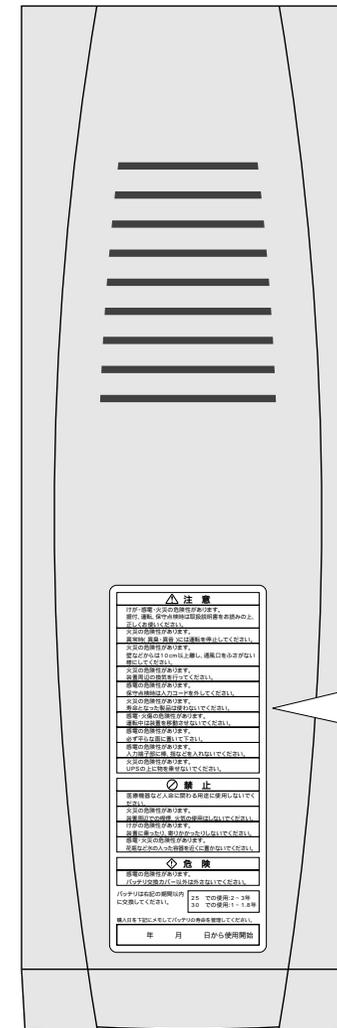


照明器具

3.「警告ラベル」の表示の位置

本UPSには次のような「警告ラベル」が付いています。  
ラベルの内容を確認し、必ず守るようにしてください。  
また、「警告ラベル」ががすれたり、はがれたりした場合は  
お買い上げの販売店に連絡してください。

上面図



**⚠ 注意**

けが・感電・火災の危険性があります。  
据付、運転、保守点検時は取扱説明書をお読みの上、  
正しくお使いください。  
火災の危険性があります。  
異常時(異臭・異音)には運転を停止してください。  
火災の危険性があります。  
壁などからは10cm以上離し、通風口をふさがない  
様にしてください。  
火災の危険性があります。  
装置周辺の換気を行ってください。  
感電の危険性があります。  
保守点検時は入力コードを外してください。  
火災の危険性があります。  
寿命となった製品は使わないでください。  
感電・火傷の危険性があります。  
運転中は装置を移動させないでください。  
感電の危険性があります。  
必ず平らな面に置いて下さい。  
感電の危険性があります。  
入力端子部に棒、指などを入れないでください。  
火災の危険性があります。  
UPSの上に物を乗せないでください。

**🚫 禁止**

医療機器など人命に関わる用途に使用しないで  
ください。  
火災の危険性があります。  
装置周辺での喫煙、火気の使用はしないでください。  
けがの危険性があります。  
装置に乗ったり、寄りかかったりしないでください。  
感電・火災の危険性があります。  
花瓶など水の入った容器を近くに置かないでください。

**⚠ 危険**

感電の危険性があります。  
バッテリー交換カバー以外は外さないでください。

バッテリーは右記の期間以内  
に交換してください。

25	での使用:2-3年
30	での使用:1-1.8年

購入日を下記にメモしてバッテリーの寿命を管理してください。

年 月 日から使用開始

最初に使用開始日を記入してください。

目次	CONTENTS
1.設置場所	P.8
2.安全上の重要な注意事項	P.8
3.各部の名称	P.9
4.使い方	P.10 ~ 13
5.長期間使用しないときは	P.14
6.停電時の動作	P.15
7.付属のソフトウェアについて	P.16 ~ 19
8.長くお使いいただくために	P.20
9.バッテリー交換時の注意	P.21
10.バッテリー交換手順	P.22
11.故障かな?と思ったら	P.23
12.各種アラームについて	P.24
13.仕様	P.25
14.MEMO	P.26 ~ 27
15.保証とアフターサービス	P.28

## 1. 設置場所

本UPSは、屋内用に設計されています。適切な環境でご使用ください。

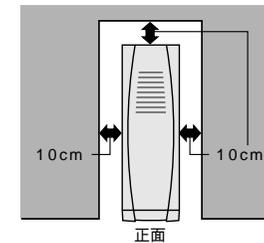
### ⚠ 注意

UPSは前後左右に10cm以上の空間を設けて設置してください。  
 UPSの通風口はふさがないでください。  
 UPSの上には物を載せないでください。  
 次のような環境での使用・保管は絶対にしないでください。  
 故障・損傷・劣化などによって、火災の原因になることがあります。  
 カタログ・取扱説明書に記載の周囲温度から外れた高温・低温・多湿となる場所  
 直射日光が当たる場所  
 ストープ等の熱源から熱を直接受ける場所  
 車載・船舶等、振動や衝撃の加わる場所  
 火花が発生する機器の近く  
 粉塵・腐食性ガス・塩分・可燃性ガスがある場所  
 屋外

使用環境 温度：0～40  
 湿度：25～85% (ただし、結露しないこと)

設置スペース  
 本UPSは磁気漏洩があり、CRTディスプレイ等に影響を及ぼす場合がありますので、この時は影響を及ぼさない距離に設置願います。

上面から見て



## 2. 安全上の重要な注意事項

UPSはバッテリー(公称電圧12V)を内蔵しています。装置が商用電源に接続されてない場合でも感電する危険があります。

発火または感電のおそれがありますので、本書に記載されている指定範囲内の温度・湿度のある場所に設置してください。

UPSはバッテリー(公称電圧12V)を内蔵しています。商用運転中のとき、装置が商用電源に接続されていない場合でもバックアップ出力コンセントは出力があります。

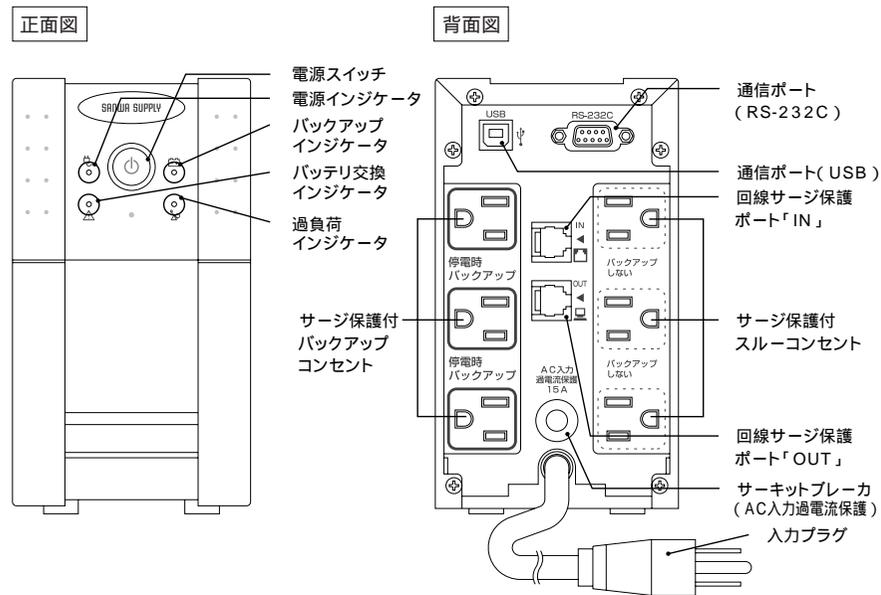
UPSは、ホコリのない風通しのよい室内に設置してください。

UPSは、アースのある2極3線式コンセントに接続してください。このコンセントは適切な分岐保護回路(ヒューズまたはサーキットブレーカ)に接続されている必要があります。

その他のコンセントに接続しますと感電のおそれがあります。

緊急時にUPSを完全停止させるためには最初に電源スイッチを押して、UPSの運転を停止させてください。それから、UPSの入力プラグを壁のコンセントから抜いてください。

### 3.各部の名称



No.	名称	機能
	電源スイッチ	UPSの運転・停止
	電源インジケータ	・緑色ランプが点灯...商用運転中
	バックアップインジケータ	・オレンジ色ランプが点灯...バッテリーによるバックアップ運転中
	バッテリー交換インジケータ	・赤色ランプが点滅...バッテリーの消耗確認
	過負荷インジケータ	・赤色ランプが点灯...過負荷
	通信ポート (USB)	付属ソフトウェアをインストールしたパソコンと接続し、自動シャットダウンを行ったり、電源モニタリングを行うことができます。
	通信ポート (RS-232C)	OS標準のUPSサービスによってOSのシャットダウンを行うことができます。
	サージ保護付バックアップコンセント	バックアップを必要とする機器を接続する出力コンセントです。このコンセントは接続した機器を停電とサージから守ります。
	サージ保護付スルーコンセント	バックアップを必要としない機器を接続するコンセントです。このコンセントは接続した機器をサージから守ります。電源スイッチのon/offに関係なく出力します。
	回線サージ保護ポート「IN」	電話線 (RJ11) またはネットワーク回線 (RJ45) のサージを吸収できます。「OUT」側に保護する機器を接続してください。
	回線サージ保護ポート「OUT」	
	サーキットブレーカ (AC入力過電流保護)	過電流保護のためのサーキットブレーカです。商用電源から装置を切り離すためにトリップします。トリップした場合は、黒いボタンがとびだし、出力が停止します。この場合は少なくとも1つの負荷をUPSから外してください。サーキットブレーカをリセットするにはサーキットブレーカのボタンを押し込んでください。
	入力プラグ	・商用電源コンセントに接続(必ずアースの接続もしてください。)

### 4.使い方

商用電源に接続します。



**注意**

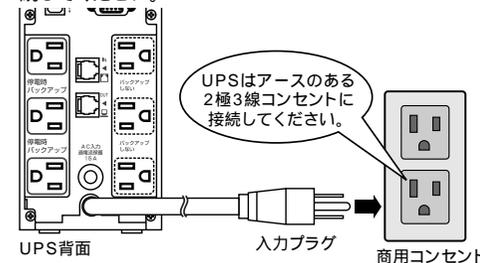
アース線を確実に接続してください。  
アース線を接続していない場合、感電のおそれがあります。



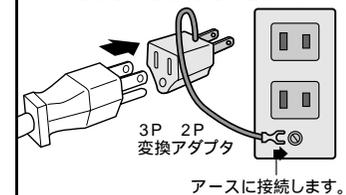
**注意**

延長用の電源やたこ足配線となるアダプタは使用しないでください。

UPS背面の入力電源プラグを商用電源コンセントに接続してください。



入力電源ケーブルの差込プラグがコンセントに合わない場合は、付属の3P 2P変換アダプタを取り付けてから差し込んでください。



UPSのバッテリーを充電します。

UPSの電源スイッチはOFFのままにしておいてください。



**注意**

無負荷状態で最低8時間以上は充電してください。  
バッテリーを充電しないで、UPSを使用することはできませんが、その場合はバッテリーのバックアップ時間が減少します。



**注意**

UPSが故障し、異臭・異音がした場合はUPSをすぐに停止してください。  
火災の原因になる場合があります。

バックアップを必要とする負荷(PC本体・モニタなど)を接続します。

負荷(PC本体、パソコンなど)をサージ保護付バックアップコンセント(9ページ)に接続してください。



**注意**

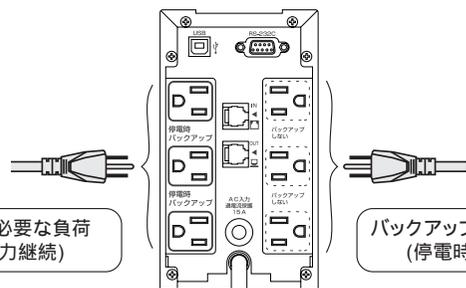
負荷の消費電力の合計が750VA(450W)以下にしてください。  
本装置はコンピュータの周辺機器用に設計しています。  
トランスやインダクタなどの巻線類負荷には適合しません。  
レーザープリンタを接続しないでください。

バックアップを必要としない負荷(スキャナ、MODドライブ、インクジェットプリンタなど)を接続する。

負荷(パソコン周辺機器)をサージ保護付スルーコンセント(9ページ)に接続してください。

**注意**

サージ保護付バックアップコンセントとサージ保護付スルーコンセント両方に接続する機器の合計容量は12A・100V以下にしてください。  
本装置はコンピュータの周辺機器用に設計しています。  
トランスやインダクタなどの巻線類負荷には適合しません。  
レーザープリンタを接続しないでください。



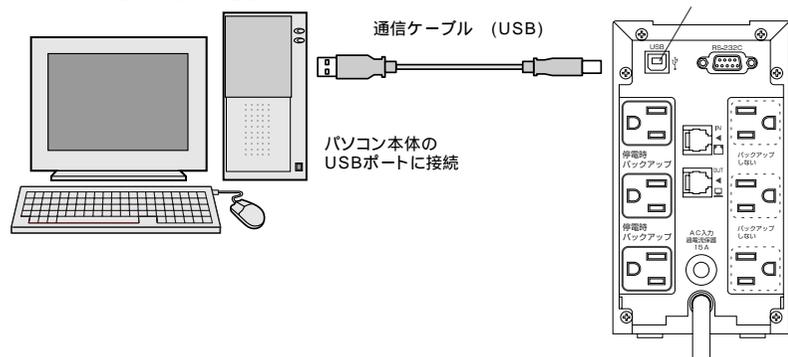
**注意**

サージ保護付バックアップコンセントとサージ保護付スルーコンセントは、どちらもパソコンとパソコンの周辺機器用です。パソコンまたは、パソコン用の周辺機器以外の装置には、使用しないでください。

付属の電源管理ソフトウェアをインストールして使用する場合

通信ケーブル を接続します。

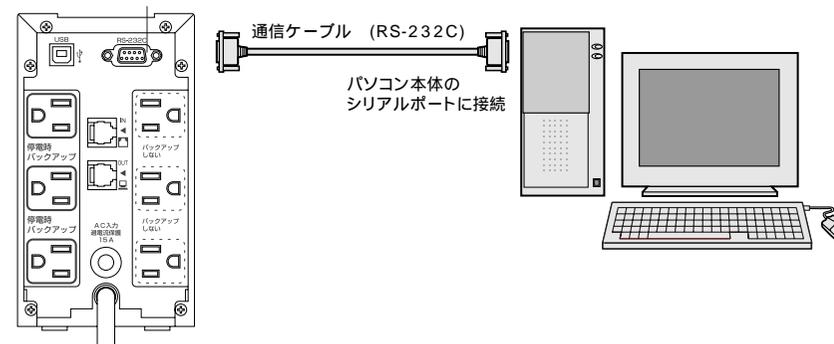
UPSの正常動作を確認後、パソコンにソフトウェアをインストールしてください。  
UPSの通信インターフェイス(下図)とバックアップをするパソコンのUSBポートを付属の通信ケーブル で接続してください。



OSのUPSサービスを使用する場合

通信ケーブル を接続します。

必要に応じて、UPSの通信ポート(下図)とバックアップをするパソコンのCOMポートとを付属の通信ケーブル で接続してください。

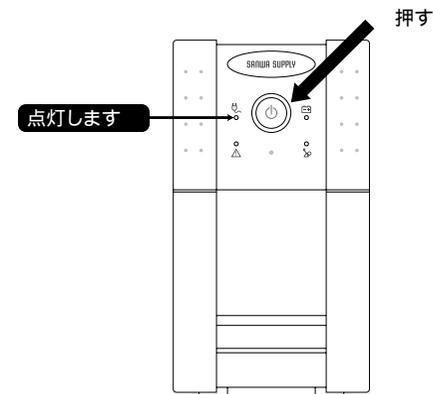


始動します。

**注意**

UPSが故障し、異臭・異音がした場合はUPSをすぐに停止してください。  
火災の原因になる場合があります。

電源スイッチ(下図)を押してください。「ピー」という音が鳴り、電源インジケータ(下図)の緑色のランプが点灯し、5秒後に「ピッピッ」という音が鳴ると、正常運転が始まります。



負荷(コンピュータなど)の電源スイッチをONにします。

UPSに接続した負荷(コンピュータなど)のスイッチをONにしてください。

セット完了です。

負荷(コンピュータなど)の動作が正常であればセット完了です。  
次の注意のもと、UPSをお使いください。

**⚠ 注意**

通風口に棒・指などの異物を入れないでください。感電のおそれがあります。  
入力プラグは絶対に出力コンセントに差し込まないでください。運転中に入力プラグを出力コンセントに差し込むと電流が環流し、アークが発生してやけど・視覚の障害などのおそれがあります。  
UPSが運転している状態で入力電源ケーブルを抜かないでください。  
感電・やけどのおそれがあります。  
運転中はUPSを絶対に移動させないでください。感電・やけどのおそれがあります。  
負荷を減らす場合、UPSを停止させてください。火災・やけどの原因になる場合があります。

**⊘ 禁止**

UPS周辺での喫煙・火気の使用を禁止します。爆発・破損により、けが・火災のおそれがあります。  
UPSの上部に花瓶など水の入った容器を置かないでください。花瓶などが転倒した場合、こぼれた水での感電・UPS内部からの火災の原因になることがあります。  
UPSの上部に乗ったり、踏み台にしたりしないでください。  
次のような用途には絶対に使用しないでください。  
a.人命に直接かかわる医療機器などへの使用。  
b.人身の損傷に至る可能性のある航空機・電車・エレベータなどへの使用。  
c.社会的・公共的に重要なコンピュータシステムなどへの使用。  
d.これらに準ずる装置。

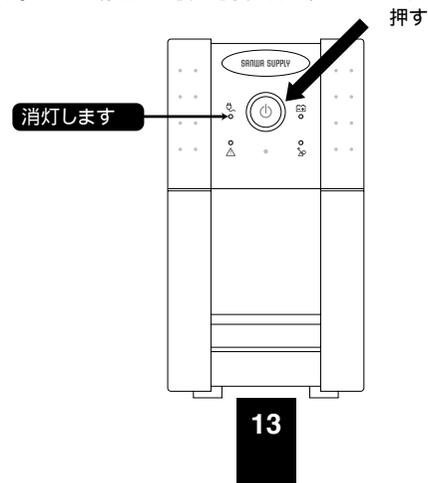
**<UPSを停止させる場合は>**

**負荷(コンピュータなど)を停止させます。**  
UPSに接続した負荷(コンピュータ周辺機器など)を停止させてください。  
**UPSを停止させます。**

**⚠ 注意**

UPSが運転中(商用/バックアップインジケータ点灯)に、入力電源ケーブルを抜かないでください。停電と同じ状態になり、バッテリーが放電します。

電源スイッチ(下図)を押してください。電源インジケータ(下図)の緑色のランプが消灯し、UPSが停止します。UPSが停止した後も必要に応じ、バッテリーは充電されます。



**5. 長期間使用しないときは**

**⚠ 注意**

本UPSのバッテリーには寿命があります。バッテリーが寿命になったら、新しいバッテリーを購入して交換してください。寿命となったバッテリーを使い続けると火災の原因になることがあります。

**⚠ 注意**

バッテリーは使用しなくても自然放電します。3ヶ月ごとに24時間のバッテリー充電を行ってください。  
バッテリー充電を行わないと本UPSが使用できなくなります。

**⚠ 注意**

本UPSが運転中(電源インジケータ点灯中)に、入力電源コードを抜かないでください。停電と同じ状態になり、バッテリーが放電します。

通常の始動/停止は、電源スイッチで行ってください。

バッテリーの自己放電による電圧低下を防ぐために、本UPSを商用電源に接続しバッテリーの充電を行う必要がありますが、長期間使用しない場合には次の操作を行ってください。

電源スイッチを押して、本UPSの運転を停止させてください。

UPSが停止すると電源インジケータの緑色のランプが消灯します。

UPSが停止します。

入力電源ケーブルを入力コンセントから抜き、本UPSを保管してください。

**⚠ 注意**

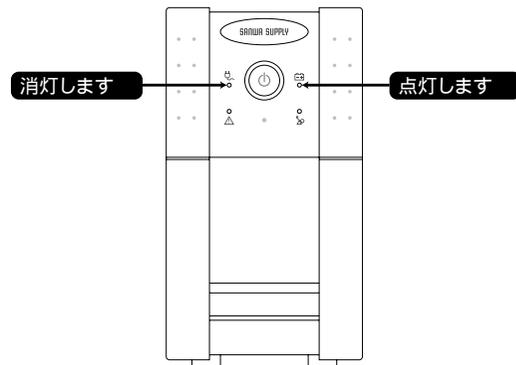
保管するには必ず正常な方法(上記)で本UPSの運転を停止させてからにしてください

## 6. 停電時の動作

停電が発生すると...

商用運転からバックアップ運転(インバータ運転)に切り換わります。

電源インジケータの緑色ランプ(下図)が「ピピッ」というブザー音とともに消灯し、バックアップインジケータのオレンジ色ランプ(下図)が点灯します。以降停電が回復するまで30秒ごとに「ピピッ」というブザー音が鳴ります。



3分以内に負荷(パソコン)の終了処理をしてください。

コンピュータをご使用の場合は、データをセーブしてください。  
その他の周辺機器をご使用の場合は、必要な処置を行ってシステムを終了させてください。

UPSに接続している負荷(パソコン、周辺機器等)を終了させたら、UPSの電源スイッチを切って、運転を停止させてください。

付属のソフトウェアとUSBケーブルを使用することによって、これらの動作を自動的に行うことができます。

### ☞ そのまま放置しておく・・・

バッテリーの容量が少なくなると、ブザー音の間隔が短くなります。(0.4秒に一回)やがてバッテリーを保護するためバックアップ運転を中止します。(すべてのインジケータランプが消灯します。) 運転中止までの時間は負荷の容量やバッテリーの残量に依存します。

### ☞ バックアップ運転中に停電から回復すると・・・

電源インジケータのランプが点灯し、バックアップインジケータのランプが消灯します。ブザー音も止まり、商用運転を再開します。

## 7. 付属のソフトウェアについて

対応OS:WindowsXP・2000

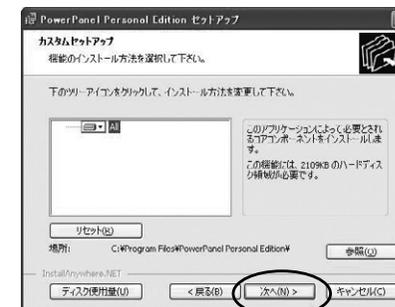
付属のUSBケーブルでパソコンと接続することによって、停電時にパソコンのOSを自動シャットダウンさせることや、電源状態のモニタリングを行うことができます。

### インストール方法

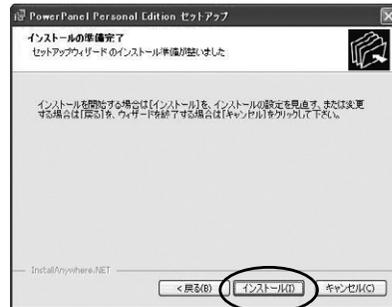
- 1 UPSとパソコンを付属のUSBケーブルで接続し、UPSの正常な動作が確認できたら付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットしてください。
- 2 CD-ROM内のプログラムが自動起動して、下記画面がパソコンのディスプレイに表示されます。何らかの原因で自動的に画面が起動しない場合にはCD-ROMの中の「Setup.exe」を実行してください。



3. 「次へ」をクリックしてください。



4. 「次へ」をクリックしてください。



5. 「インストール」をクリックしてください。



6. インストール作業が実行され、やがて下記の画面が表示されます。「完了」をクリックするとインストールは終了です。



7. タスクトレイの中に本ソフトウェアのアイコンが新しく追加されます。



### <本ソフトウェアのアンインストール方法>

WindowsXPの場合 (Windows 2000の場合も同じ手順となります。)

「コントロールパネル」の「プログラムの追加と削除」を実行し、「PowerPanel Personal Edition」を選択して実行してください。  
「セットアップ」画面が起動しますので、指示に従って「削除」を実行してください。



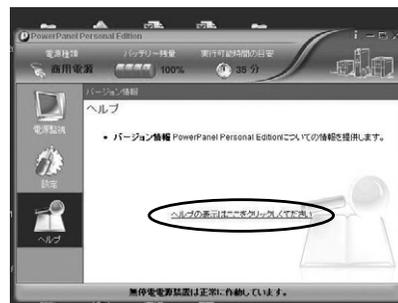
## <本ソフトウェアの使用方法>

本ソフトウェアには、「オンラインヘルプ」があります。  
この「オンラインヘルプ」をよく読んでから本ソフトウェアをご使用ください。

- 1 タスクトレイの「PowerPanel Personal Edition」のアイコンをダブルクリックすると本ソフトウェアのメイン画面が表示されます。



- 2 メイン画面左下のヘルプ画面をクリックしてください。  
下記画面となりますので、「ヘルプの表示はここをクリックしてください」の部分をクリックすると、ヘルプ画面が表示されます。



- 3 下記の図のように項目ごとに本ソフトウェアの使用方法が説明されております。  
本画面を参照しながら各種設定を行ってください。  
(本ヘルプは「印刷」アイコンから印刷することも可能です。)



## 8.長くお使いいただくために

### 1.定期的な点検



UPSのバッテリー交換カバー以外は開けないでください。感電のおそれがあります。



UPSが故障し、異臭・異音がした場合はUPSをすぐに停止してください。  
火災の原因になる場合があります。

通風口に棒・指などの異物を入れしないでください。感電のおそれがあります。

入力プラグは絶対に出力コンセントに差し込まないでください。  
運転中に入力プラグを出力コンセントに差し込むと電流が環流し、アークが発生してやけど・視覚の障害などのおそれがあります。

UPSが運転している状態で入力電源ケーブルを抜かないでください。  
感電・やけどのおそれがあります。

運転中はUPSを絶対に移動させないでください。感電・やけどのおそれがあります。

負荷を減らす場合、UPSを停止させてください。火災・やけどの原因になる場合があります。

本UPSには特別な手入れは必要ありませんが、長期間安全にご使用いただくために、次の1～3を定期的に点検してください。

- (1)UPSの表面が異常に熱くなっていませんか？
- (2)入力電源ケーブルが異常に熱くなっていませんか？
- (3)装置側面の通風口が塞がっていませんか？

万一異常が見つかった場合は使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。

## 9. バッテリー交換時の注意

本製品は、お客様ご自身でバッテリー交換が可能です。交換の際は、本装置の電源をオフにした後、入力プラグを商用電源から取り外して行ってください。

下記の注意事項をお読みください。

### ⚠ 危険

バッテリーは定期的に交換してください。  
バッテリーは寿命を過ぎると、容器の劣化により液漏れすることがあります。この液には希硫酸が含まれているため、発煙、火災のおそれがあります。また、皮膚に付着したり目に入った場合、火傷や失明する危険があります。万一、皮膚に付着したり目に入った場合は、すぐに大量のきれいな水で洗浄して、医師に相談してください。

### 🚫 禁止

本装置はバッテリーを使用しています。本製品のバッテリーを火の中に入れてください。有毒ガスの発生や爆発、破裂したりする危険性があります。バッテリーが液漏れを起こした場合は火気を近づけないでください。バッテリーが液漏れを起こした場合、同時に水素ガスが漏れている可能性がありますので、たばこやライター等の火気は絶対に近づけないでください。

### ⚠ 危険

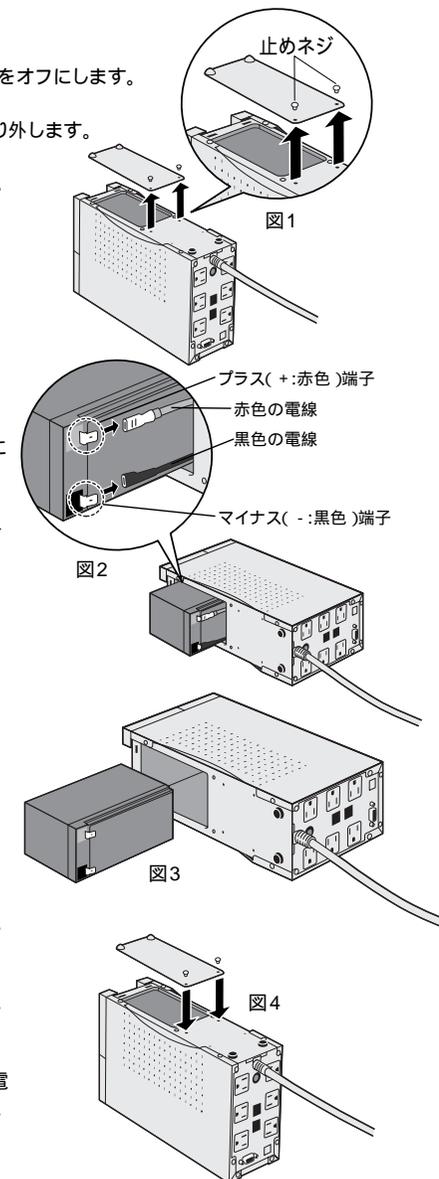
バッテリーの取り扱いの際には感電または火傷のおそれがあります。次の注意事項を必ず守ってください。  
時計、指輪、ネックレスまたはその他の金属物を取り外してください。  
絶縁された取っ手の付いた工具を使用してください。  
バッテリーの上に工具または金属物を置かないでください。  
バッテリー配線やコネクタは絶対に交換しないでください。配線の交換は傷害の原因になります。  
弊社製のバッテリー以外はサポートしかねますのでご了承ください。  
UPSがバッテリー運転のときに、バッテリー交換をしないでください。

⚠ バッテリー交換時にバッテリーに異常が見られた時は、ただちに作業を中止し、お買い求めの販売店までお問合せください。

## 10. バッテリー交換手順

下記の手順にしたがってバッテリーを交換してください。

1. 接続機器( 負荷 )を停止し、本UPSの電源スイッチをオフにします。
2. 接続機器( 負荷 )の電源ケーブルを本UPSから取り外します。
3. 本UPSの入力プラグを商用電源から取り外します。
4. 本UPSを裏返して底面を上にします。( 図1 )
5. バッテリー交換カバーの止めネジ( 2個 )をネジ回しで外し、カバーを外します。( 図1 )
6. 本UPSを図のようにゆっくりと横に倒して、側面を上にします。( 図2 )
7. バッテリーを少し引き出し、プラス( +:赤色 )の端子に接続しているコネクタを引き抜きます。( 図2 )
8. 次にマイナス( -:黒色 )の端子に接続しているコネクタを引き抜きます。( 図2 )
9. バッテリーを本UPSから取り出します。( 図3 )
10. 新しいバッテリーを前と同じ向きに挿入します。
11. 最初に黒色の電線をバッテリーのマイナス( -:黒色 )の端子に差し込みます。
12. 次に赤色の電線をバッテリーのプラス( +:赤色 )の端子に差し込みます。
13. バッテリー全体をゆっくりと本UPSに押し込みます。
14. 本UPSの底面が上になるように、ゆっくりと倒します。( 図4 )
15. バッテリー交換カバーを止めネジ( 2個 )で固定します。( 図4 )
16. 本UPSを初めて使用するときと同じように商用電源に接続し8時間以上充電してから使用再開します。



## 11.故障かな?と思ったら



注意

UPSのバッテリー交換カバー以外は開けないでください。感電のおそれがあります。

故障かな?と思ったら、まず次の確認を行ってください。  
それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店にご相談の上、修理を依頼してください。

問 題	考えられる原因	処 置
UPSが起動しない。 (ランプも点灯しない、 ブザーも鳴らない)	電源スイッチがONになっていない。	電源スイッチを押して、UPSを起動してください。
	UPSのサーキットブレーカがトリップしている。	1.UPSにつないでいる負荷を取り外してください。 2.UPSの入力プラグを商用コンセントから外してください。 3.サーキットブレーカをリセットしてください。
過負荷インジケータが点灯、ブザーが鳴り続ける。	UPS過負荷。	負荷の大きい装置を外してください。
	出力がショートしている。	出力の負荷をチェックしてください。
バックアップ時間が 定格より短い。	UPSのバッテリーが完全充電されていない。	バッテリーを8時間以上再充電してください。
	過負荷	いくつかの負荷を外してください。
	バッテリーの寿命が末期状態になっている。	停電によるバックアップ運転の頻度が多かったり、高温で使用されたりしている場合には、バッテリーの消耗が大きく寿命が期待寿命より短くなります。新しい商品をご購入ください。
バックアップしない。	過負荷	いくつかの負荷を外してください。
	UPSのバッテリーが充電されていない。	バッテリーを8時間以上充電してください。
	バッテリーの寿命が末期状態になっている。	停電によるバックアップ運転の頻度が多かったり、高温で使用されたりしている場合には、バッテリーの消耗が大きく寿命が期待寿命より短くなります。新しい商品をご購入ください。
バッテリー交換インジケータが点灯している。	バッテリー容量低下。	無負荷状態で8時間以上充電してみてください。

## 12.各種アラームについて

インジケータの点灯やアラームで状況を確認してください。

状況	 電源	 バックアップ	 バッテリー交換	 過負荷	 アラーム
switch off	off	off	off	off	なし
商用運転中	on	off	off	off	なし
バックアップ運転中	off	on	off	off	30秒ごとにアラーム2回 (アラームの長さ:0.3秒)
バックアップ運転中にUPSのバッテリーの残量が少なくなってきた時	off	on	off	off	0.4秒ごとにアラーム1回 (アラームの長さ:0.2秒)
ソフトウェアでの自己テストモード	off	on	off	off	0.4秒ごとにアラーム1回 (アラームの長さ:0.2秒)
過負荷110~120% (商用運転中)	on	off	off	on	連続アラーム (オーバーロードの状態がなくなると、アラーム停止)
過負荷120~150% (商用運転中)					
過負荷150%以上 (商用運転中)	on	off	off	off	on(1秒以内) off
過負荷110~120% (バックアップ運転中)	off	on	off	off	on
過負荷120~150% (バックアップ運転中)					
過負荷150%以上 (バックアップ運転中)	off	on	off	off	on(1秒以内) off
バッテリー交換 (商用運転中) UPSのバッテリーの寿命がきています。	on	off	点滅(1秒おき)	off	9秒ごとにアラーム3回 (アラームの長さ:0.2秒)



